

2026－27年度青少年奉仕委員会方針

次期青少年奉仕委員長 増子博保

ロータリーの五大奉仕である青少年奉仕について、手続き要覧 2025 年版には、「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」と載っています。

また、My ROTARY では、青少年奉仕を「ロータリーは、次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーが、リーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援します。」とっております。

両方ともに、リーダー、リーダーシップ、指導力がキーワードとなっています。

だからこそ、地区の青少年奉仕委員会の組織は、

- ・中高生のリーダーを育てる「インターアクト委員会」
- ・青少年の指導者養成プログラムを実施する「RYLA委員会」
- ・留学を通して、異文化を学び、国際理解を促す、「青少年交換委員会」

となっているのだと思います。

そして日本の青少年奉仕を支援する組織として「RIJYEM」*1 という組織が存在し、「全国インターアクト研究会」、「全国RYLA研究会」、「日本青少年交換研究会」というイベントを支援して、インターアクト、RYLA、青少年交換事業のレベル向上を図っています。

ということで、ロータリーが目指す青少年奉仕は、いかに次世代のリーダーを育てることに尽力するかだと思います。

これらのことを「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー」や「青少年奉仕セミナー」を通して、各ロータリークラブの青少年奉仕関係者や会長・幹事にも理解して戴きたくように努めてまいりたいと思います。

さらに各RCを訪問し、卓話をお引き受けすることにより、青少年奉仕の「インターアクト」「RYLA」「青少年交換」プログラムの素晴らしさをお伝えしたいと思います。

そしてそれが、インターアクトスポンサークラブの増加、RYLA研修会参加者増加、青少年交換事業への参加クラブの増加に繋がればと思っております。

青少年奉仕に関する卓話のご依頼をお待ち致します。

*1 RIJYEM : RI Japan Youth Exchange Multi District Organization

(一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構)

元々は、青少年交換プログラムを支援する組織でしたが、日本ロータリー百周年実行委員会の提言を受け、青少年交換に限らず、青少年事業全般に活動支援を広げています。